

JAL、三重県誕生150周年記念事業パートナーに登録 ～「三重ブランド」と「みえの食と旅」の魅力を全国へ発信～

JALは、2026年1月8日に「三重県誕生150周年記念事業パートナー」として登録されました。これを機に、JALは「美し国(うましくに)みえ」の豊かな自然が育む新鮮な海の幸や豊富な山の恵み、そして多彩な食文化と観光資源の魅力を、より一層全国さらには世界へ発信してまいります。



150th anniversary

三重県誕生150周年

JALと三重県は、2015年に「食」と「観光」に関する連携協定(*1)を締結して以来、国際線ビジネスクラス機内食で三重県産食材を使用したメニューの提供や、伊賀の「忍者トレイルランニングレース」への協力、伊勢茶を使った「伊勢茶いちご羊羹」の共同開発など、地域資源を生かした観光振興や情報発信に取り組んできました。機内誌「SKYWARD」やJALふるさとプロジェクトYouTubeチャンネルなど、多様なメディアを通じて三重の魅力を発信しています。

2026年4月18日の「三重県誕生150周年」を記念し、三重県では「三重の歩み・魅力の再発見」と「未来創造」をテーマに、2025年から2026年にかけてさまざまな記念事業が展開されます。JALは、三重県の豊かな自然や伝統、そして地域のストーリーが詰まった農水産物や観光資源を、JALグループのさまざまなアセットを活用して発信し、地域の活性化と関係人口の拡大に貢献してまいります。

第一弾として、JALふるさとプロジェクト(*2)の一環として日本各地の食材や産品を紹介している「旅するメーカーズディナー」にて、三重県誕生150周年を記念した特別イベント(*3)を開催します。

(*1) 2015年12月12日付プレスリリース JAL x 三重県「食」と「観光」に関する協定を締結

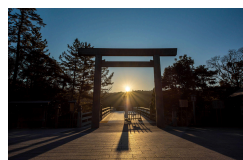
<https://press.jal.co.jp/ja/release/201512/002519.html>

(*2) JALが培ってきた「移動」と「つながり」のチカラで、観光振興や地域産業支援などを通じて日本各地を元気にする地域活性化事業

<https://japan.jal.co.jp/>

(*3) 「旅するメーカーズディナー」第16弾 三重県誕生150周年記念 美し国(うましくに)みえ特集を開催

<https://japan.jal.co.jp/assets/pdf/regional/kanto/20260106.pdf>



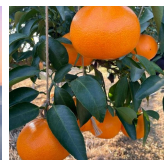
伊勢神宮 宇治橋



桑名はまぐり



夫婦岩



せとか



英虞湾



伊賀牛

三重県は、万葉集などでも「御食つ国(みけつくに)」と詠まれ、古代から朝廷や伊勢神宮に海水産物などの豊かな食材を献上してきた歴史ある地です。JALは今後も三重県と連携を深め、多様な魅力と深い歴史を持つ三重県の「観光」と「食」の振興を推進し、「美し国みえ」の未来を共に創造してまいります。

これからもJALと三重県の取り組みに、どうぞご期待ください。

以上